



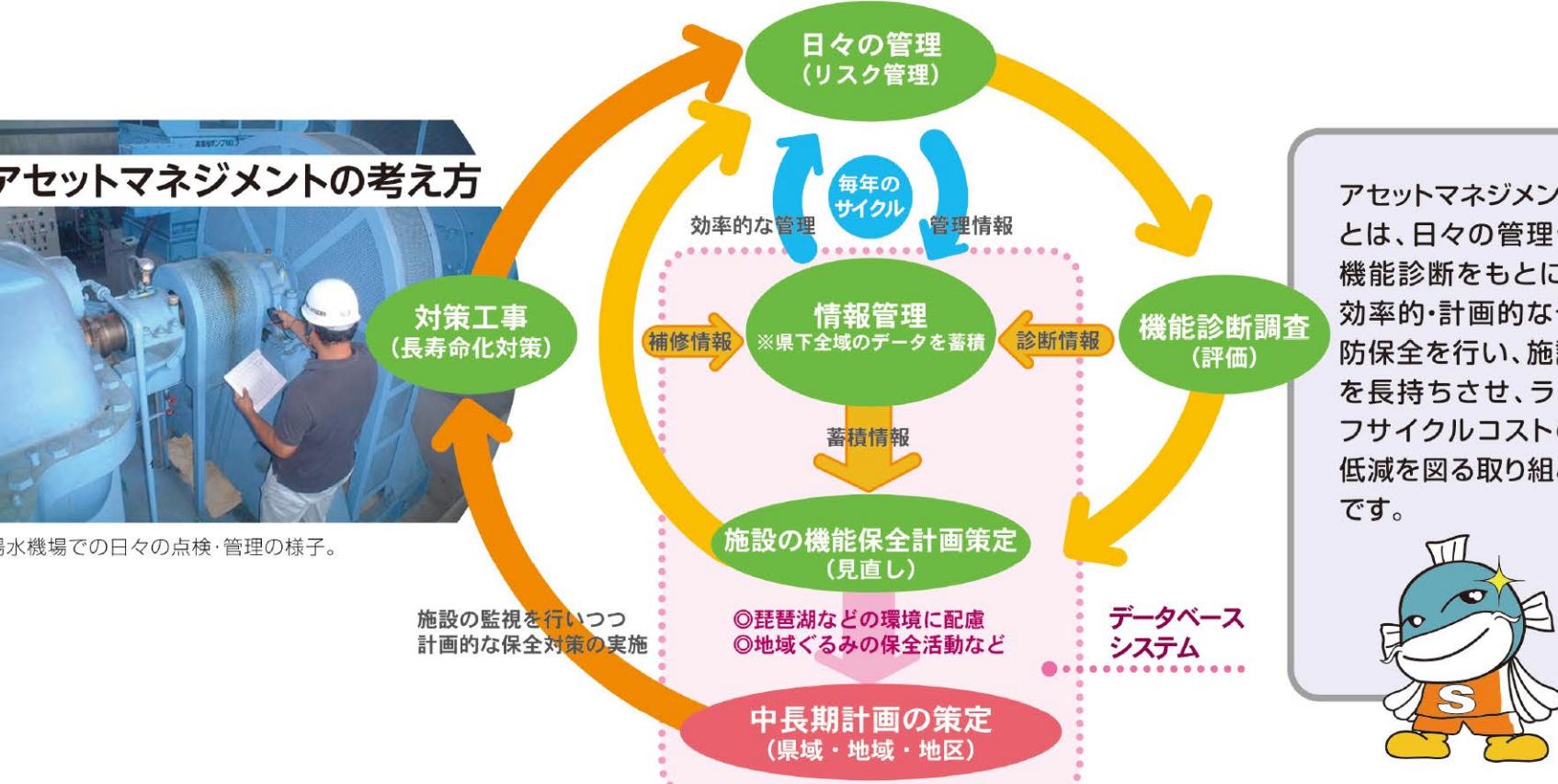
老朽化に対応した施設の長寿命化

湖東管内には総延長約1,400kmもの水路が張り巡らされており、この他にも頭首工やポンプ場などの大規模な農業水利施設から7施設あります。過半の施設が造成されてから30年以上経過し、老朽化が進んでいます。

老朽化がすすむ施設を長持ちさせため、アセットマネジメントの考え方で順次、保全・更新を進めています。



湖東地域にある主な農業水利施設



農業の担い手が活躍できる環境を整備

力強い農業に向けて基盤を整備する～農地整備事業～

農地の区画整理や大区画化、老朽化した用排水路等の更新整備等を行うことで、生産性の高い農業経営ができるよう農業基盤を整備します。

あわせて、地盤中間管理機と連携し、将来の農業生産を担う経営体(担い手)へ農地の集積・集約を進め、大規模で安定した農業経営の実現を目指します。



農地の利用条件を整備する～農地耕作条件改善事業～

農業者の自力施工等も活用し農地や水路などの簡易な整備を実施します。



水田農業を守るために農業水利施設を整備する～かんがい排水事業～

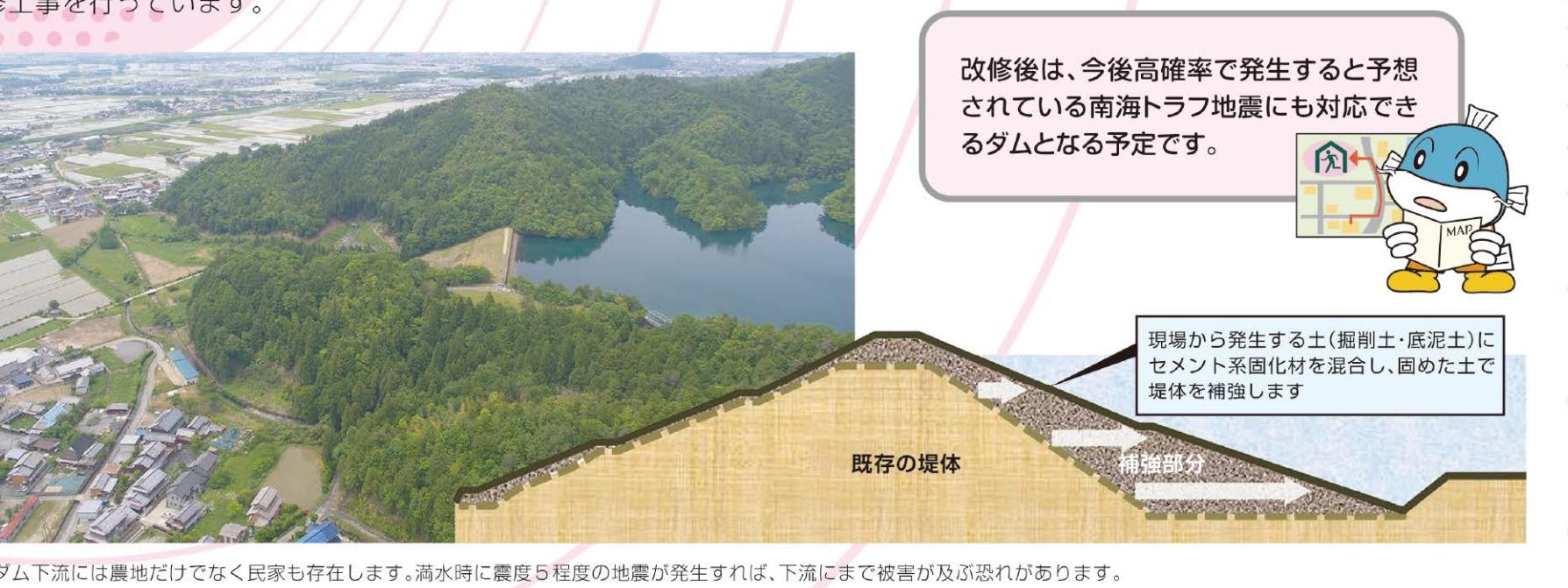
水路の改修を行うことで、田んぼの水はけを良くします。水はけが良くなることで、力強い農業の実現に向け、田んぼでの野菜栽培も可能になります。



農村地域の強靭化に向けた防災・減災対策

災害時に備えて施設の改修を行う～農地防災事業～

東日本大震災において、東北地方のダムが決壊し死傷者が出了ことを受け、芹川ダムの耐震診断を実施しました。その結果、大きな地震時には安全性が不足していることがわかったため、南海トラフ地震にも対応できるよう耐震改修工事を行っています。



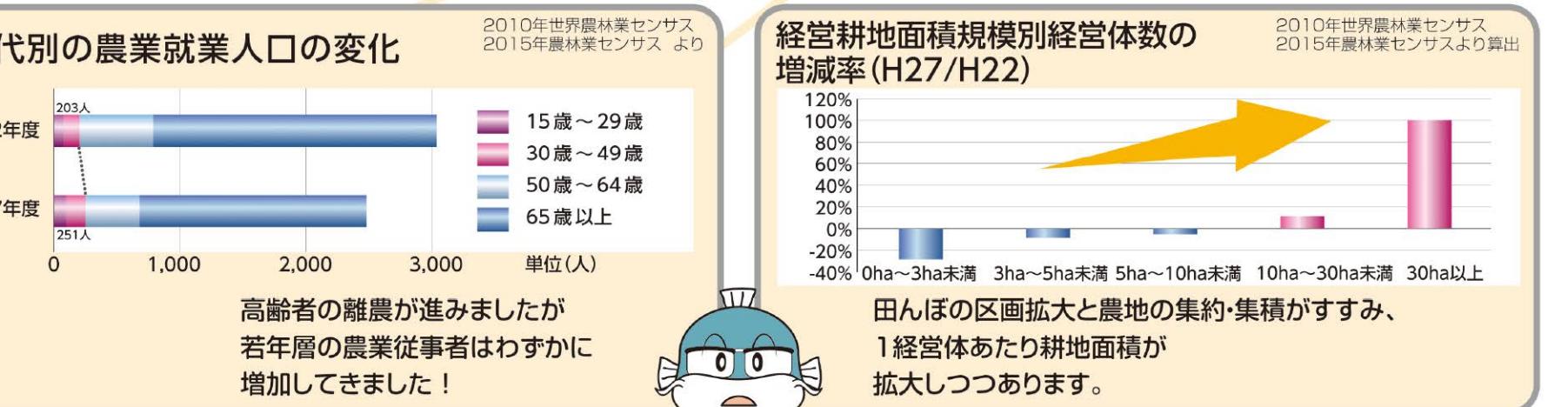
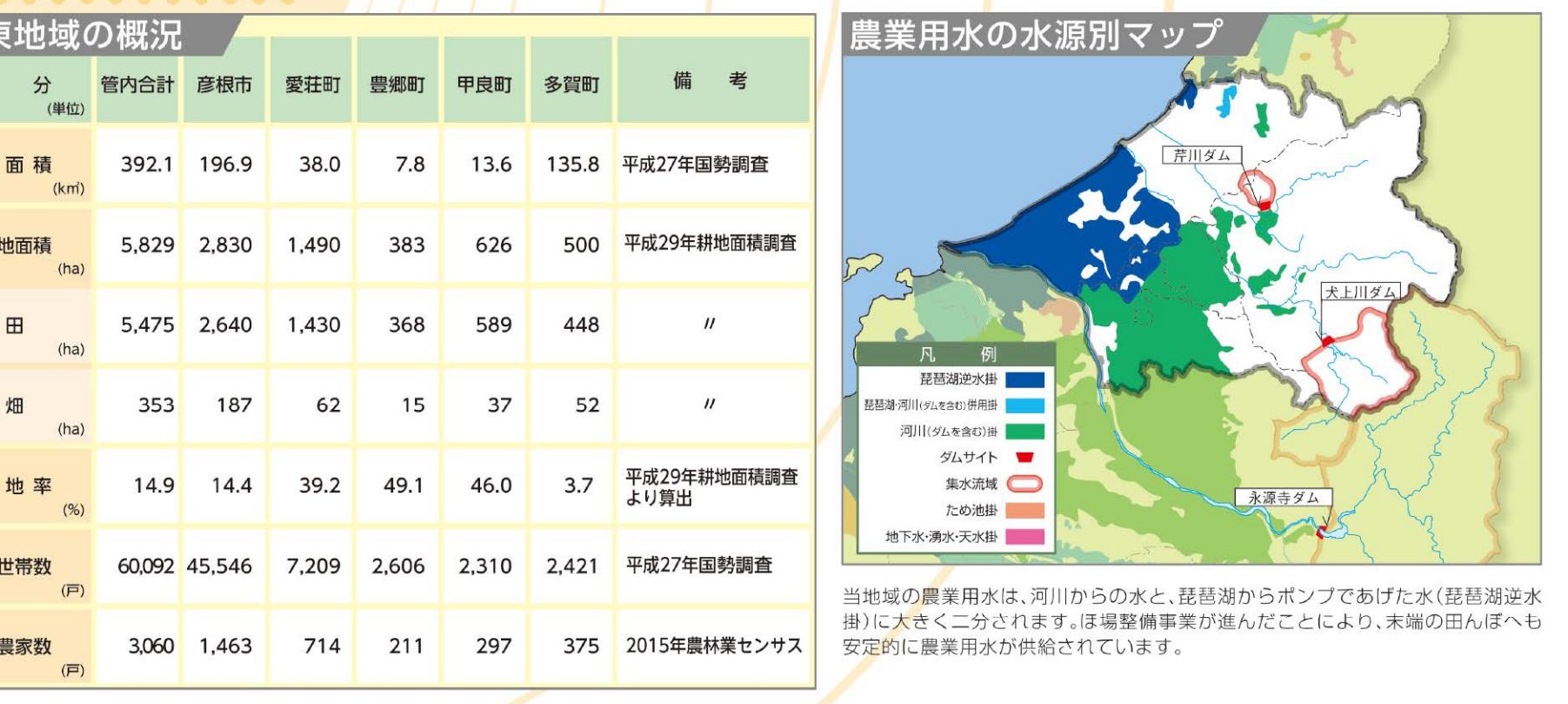
工場立地や宅地開発などの土地利用の変化や降水量の変化等により、安食川に流れ込む水量が増加しています。

そこで水害を未然に防止し地域農業の安定と発展を図るため、川幅の拡幅と護岸の整備を進めています。

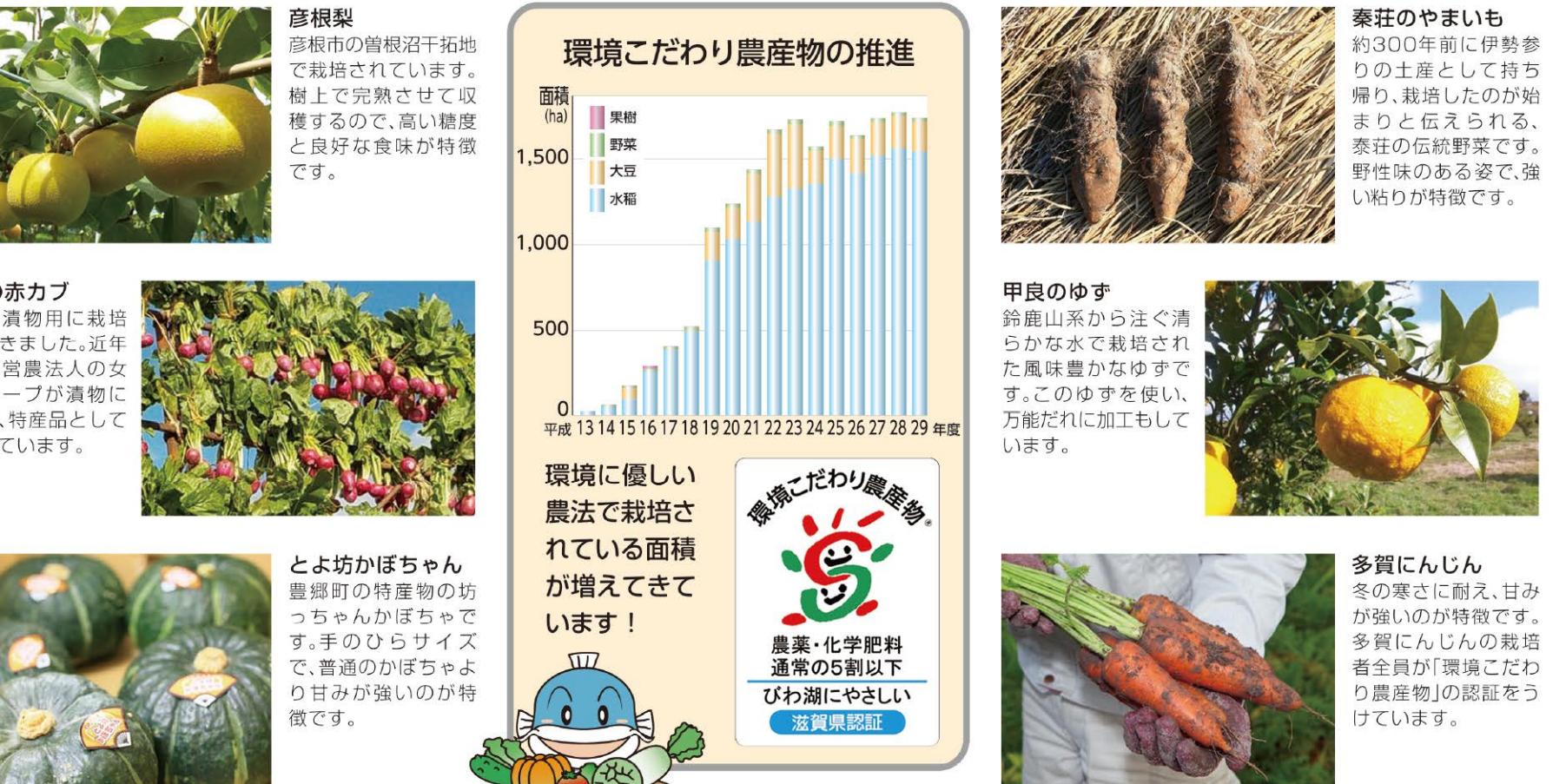


湖東地域の農業の姿

当地域では、昔から稲作が盛んで、今でも農地の約94%を占める田んぼで稻作が行われています。一方で、経営の安定化に向けて田んぼを活用し、露地野菜づくり(キャベツ、ブロッコリーなど)や、新規就農者を中心にハウス栽培(イチゴ、トマト)も広まっています。



湖東地域の伝統野菜とブランド品種



農業農村のもつ多様な「めぐみ」の維持、発揮を推進

地域ぐるみで取り組む農村環境の保全活動を推進

農業・農村地域には、お米や野菜が作られる田んぼや畠があるだけでなく、たくさんの生き物や、美しい風景、晝に感謝する伝統文化などが育まれています。これらの農業生産の多面的機能は、農業者の共同活動により維持・発揮されてきましたが、農業者の減少や高齢化などにより、このような「めぐみ」が次世代につながることが難しくなってきています。



人も生きものにもぎわう農村地域を目指す「豊かな生きものを育む水田づくり」

